

2025 年 2 月 10 日

お客様各位

KTS 川田テクノシステム株式会社
KTS サポートセンター v-help@kts.co.jp

V-nasClair シリーズ Ver.2024.2 用修正パッチ公開のお知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。
V-nasClair について、2025 年 2 月 10 日付で修正プログラム(差分)を公開したことをご案内申し上げます。
大変お手数ではございますが、該当製品をお使いのお客様は、パッチを適用してくださいますよう、お願いいたします。

敬具

記

■適用対象製品・バージョン

V-nas/V-nasClair シリーズ Ver.2024.2

■修正内容

● V-nas/V-nasClair

- 土量計算(プリズモイダル) ※V-nasClair のみ
プリズモイダル法で求めた土量の誤差が大きくなる問題を修正しました。表面要素と基準要素のポリゴンのサイズが大きく異なっているときに、誤差が大きくなる傾向がありました。
【対象コマンド】 『3D-ツール-土量計算(プリズモイダル)』 コマンド
- 3D 座標系 ※V-nasClair のみ
「3D 座標系」の選択が変更されてしまう場合がある問題を修正しました。
【対象コマンド】 『ツール-3D 座標系』 コマンド
- 2 要素接線での線分描画
指示した二つの要素に接する線分が正しく作図されない問題を修正しました。
【対象コマンド】 『作図-直線-2 要素接線』 コマンド
- 2 線間の等分割線での線分描画
指示した二つの線分の組み合わせにより、正しく等分されない線分が作図される問題を修正しました。
【対象コマンド】 『作図-直線-2 線間の等分割線』 コマンド
- 点の等分割
等分割する連続した要素を選択する際、円、楕円、閉じたポリラインを選択すると異常終了する問題を修正しました。
【対象コマンド】 『作図-点-等間隔点』 コマンド

- 要素の移動、複写

以下の要素において、正しく反転した形状にならない問題を修正しました。

- ・ 柱 ※V-nasClair のみ
- ・ ソリッド ※V-nasClair のみ
- ・ 弧長寸法
- ・ 角度寸法

【対象コマンド】 『編集－移動－反転』 コマンド
『編集－移動－線対称』 コマンド
『編集－複写－反転』 コマンド
『編集－複写－線対称』 コマンド

- 要素属性の変更

文字列を入力せずに作図した引出線に文字列を入力しても、作図されない問題を修正しました。

また、パターンハッチングタブの[参照]ボタンで表示される「ハッチングの設定：ダイアログ」で、パターンを選択せずに[OK]ボタンを押すとフリーズする問題を修正しました。

【対象コマンド】 『編集－変更』 コマンド

- 弧長寸法の寸法合成

弧長寸法で寸法合成を行うと、寸法の形が崩れる場合がある問題を修正しました。

【対象コマンド】 『編集－寸法－寸法合成』 コマンド

- 範囲コピー

範囲内と外を跨ぐポリラインがある場所だけ、範囲外にも関わらずコピーされてしまう問題を修正しました。

【対象コマンド】 『編集－範囲コピー』 コマンド

- イレギュラー要素検索

楕円要素に対して種別が「半径」のみで検出された要素を削除する際に強制終了する問題を修正しました。

【対象コマンド】 『ツール－イレギュラー要素検索』 コマンド

- 寸法の作図設定

小数点以下桁数の項目に負の値を入力し、[OK]ボタンを押して再度開くと、大きい数値が設定されている問題を修正しました。

【対象コマンド】 『設定－作図－寸法』 コマンド

- 座標杭

全セルを選択しキーボードの Delete キーで入力内容を削除してから図面参照しなおすと、リスト下方に参照した内容が追加される問題を修正しました。

【対象コマンド】 『設定－作図－寸法』 コマンド

- オーディネート寸法

『設定－作図－寸法』 コマンドの「3 桁毎に区切る文字」で選択した区切り文字と逆に作図される問題を修正しました。

【対象コマンド】 『作図－寸法－オーディネート寸法』 コマンド

- ダイアログのアクティブ・非アクティブの項目

各コマンドのダイアログで、アクティブ・非アクティブの項目が間違っている問題を修正しました。

- 【対象コマンド】 『ファイル－開く』 コマンド (AutoCAD ファイル読み込み時のウィザードダイアログ)
『ファイル－印刷』 コマンド
『作図－文字』 コマンド
『作図－寸法』 コマンド
『編集－変更』 コマンド
『作図－ハッチング』 コマンド
『編集－ハッチング』 コマンド
『設定－ファイル変換－SIMA 変換』 コマンド

- AutoCAD ファイルの読み込み

AutoCAD で寸法文字を変更したデータを開くと、計測値が変わってしまう問題を修正しました。

- 【対象コマンド】 『ファイル－開く』 コマンド

- AutoCAD ファイルの保存

背景マスクをした文字列を AutoCAD 形式に保存すると、背景マスク部の表示が文字列より長くなる問題を修正しました。

- 【対象コマンド】 『ファイル－名前を付けて保存』 コマンド

- 既存点選択パネル

『変形－点移動』 『変形－寸法操作』 コマンド等「既存点選択パネル」の「解除」を選択した場合、コマンド終了後再度コマンドを実行した場合「選択」に戻らず「解除」になったままになる問題を修正しました。

- 【対象コマンド】 『変更－点移動』 コマンド
『作図－寸法－標準寸法』 コマンド (既存点指示)

- 要素の切断

時計回りの円弧、楕円弧に対し『変形－切断－要素』コマンドで直線、半直線を切断基準要素として選択するとずれた位置で切断される問題を修正しました。

- 【対象コマンド】 『変形－切断－要素』 コマンド

- 丈量表

『施工－丈量表』 コマンドの「地積」の小数点以下桁数を「0」(整数)を設定できるよう修正しました。

- 【対象コマンド】 『施工－丈量表－三斜法』 コマンド
『施工－丈量表－三斜法(自動)』 コマンド
『施工－丈量表－座標面積法』 コマンド
『施工－丈量表－ヘロン法・座標』 コマンド
『施工－丈量表－ヘロン法・座標 (自動)』 コマンド
『施工－丈量表－ヘロン法・辺長』 コマンド

- BasicSuite

- 線形をエクスポートする際の初期設定

エクスポートする際の測地原子の初期設定を「日本測地系 2000」から「日本測地系 2011」へ変更しました。

- 【対象コマンド】 『LINER_Kit－ツール－エクスポート－線形一括 (XML)』 コマンド
『LINER_Kit－ツール－エクスポート－J-LandXML』 コマンド

- 現況横断地形取得の際の初期設定

「現況横断地形の取得」ダイアログの「横断地形の GH を縦断地形に反映する」初期値をオンに変更しました。

【対象コマンド】 『LAND_Kit－現況取得－横断地形（中心線）』 コマンド

- 地図エクスポート失敗時にメッセージ表示

対象ファイルに変換できない微小要素がある場合、当該要素をエクスポートせずに処理を続行しているため、エクスポートに失敗した要素があるかどうか分かりませんでした。

変換できない要素が含まれていた場合は、メッセージを表示してエクスポート結果ファイルに要素が欠落していることがわかるように変更しました。

【対象コマンド】 『LAND_Kit－エクスポート－地図エクスポート』 コマンド

- 線形要素を含むファイルを地図インポートした場合の動作

線形要素を含むファイルをインポートした場合、線形 ID が重複する場合があります。

線形要素のように専用 CAD で作成した要素が含まれるファイルをインポートした場合、メッセージを表示し、該当する属性を削除して読み込むように変更しました。

【対象コマンド】 『LAND_Kit－インポート－地図インポート』 コマンド

- 幅杭（離れ）の編集画面の表示

ヘアピンカーブ状の線形でカーブ内側に幅杭を設定した場合、コマンドを再度実行すると最初と異なる測点（距離が近い測点）の幅杭として表示される場合がある点を修正しました。

【対象コマンド】 『LINER_Kit－編集－変更』 コマンド

- 二重丸の幅杭マーク

『LINER_Kit－ツール－オプション』 コマンドで「幅杭」タブ「幅杭マーク設定」を「TYPE2」に設定した場合、『LINER_Kit－作図－幅杭－幅杭マーク』 コマンドで正常に作図出来ない点を修正しました。

【対象コマンド】 『LINER_Kit－ツール－オプション』 コマンド

『LINER_Kit－作図－幅杭－幅杭マーク』 コマンド

- 複合円の規格チェック

『LINER_Kit－ツール－規格チェック』 コマンドで、複合円としての採用可否を曲率で判定すべきところ、曲線半径にて判定している点を修正しました。

【対象コマンド】 『LINER_Kit－ツール－規格チェック』 コマンド

- 旗揚げ文字の桁数

『LINER_Kit－構造物旗上げ一括編集』 コマンドで旗上げを編集すると、設定と異なる桁数で作図される点を修正しました。

【対象コマンド】 『LINER_Kit－構造物旗上げ一括編集』 コマンド

- 複数行の旗揚げの文字表示位置

『LINER_Kit－旗上げ』 コマンドでの Type2 と Type4 の文字列編集で 2 行以上の文字列を設定した場合、旗上げ文字が旗揚げ線より 1 行分離れて描画される点を修正しました。

【対象コマンド】 『LINER_Kit－旗上げ－TYPE2（たて溝）』 コマンド

『LINER_Kit－旗上げ－TYPE4（横過構造物）』 コマンド

- 断面形状表示の不具合

『LAND_Kit-表示-断面形状』 コマンドで、断面形状が表示されない点を修正しました。

【対象コマンド】 『LAND_Kit-表示-断面形状』 コマンド

● ROAD_Kit

- 幅員形状プレビューの寸法表示

幅員形状ダイアログのプレビューの寸法値が、寸法の作図単位を（m）に設定した場合に見栄えが悪い状態になるため、表示する寸法値の単位を（mm）固定としました。

【対象コマンド】 『ROAD_Kit-道路作成』 コマンド

『ROAD_Kit-道路編集』 コマンド

- 急勾配のデータで計算書出力が強制終了

計算書と図面の出力ダイアログの「3D 要素(ポリゴン)から計算」を選択して計算書を出力すると強制終了する場合があったので、メッセージを表示するように修正。

【対象コマンド】 『ROAD_Kit-計算書と図面の出力』 コマンド

- 道路モデル作成に時間がかかる

以前のバージョンと比較して、地形の細かいデータ上で道路モデルを作成・更新すると、時間がかかるようになっていた点を修正しました。

【対象コマンド】 『ROAD_Kit-道路作成』 コマンド

『ROAD_Kit-道路編集』 コマンド

● WALL_Kit

- 地表面形状の座標

モデルから取得する地表面形状の座標が正しくない場合がありますので修正しました。

※前のバージョンで作成したデータを読み込んだときに載荷荷重の位置が変わる場合があります。

【対象コマンド】 『WALL_Kit-設計計算-計算』 コマンド

- 擁壁モデルのテクスチャ

擁壁形状を変更すると擁壁モデルからテクスチャが外れる現象を修正しました。

【対象コマンド】 『WALL_Kit-設計計算-計算』 コマンド

『WALL_Kit-設計計算-計算結果』 コマンド

- L型擁壁の基礎材

L型擁壁に対して設計計算を実行すると誤った基礎材の大きさにモデルが作成される現象を修正しました。

【対象コマンド】 『WALL_Kit-設計計算-計算』 コマンド

『WALL_Kit-設計計算-計算結果』 コマンド

● DRAIN_Kit

- 画面に水路基準線しか表示されない

縦断計画ダイアログに水路基準線しか表示されず、変化点を編集すると強制終了する場合があったので修正しました。

【対象コマンド】 『DRAIN_Kit-縦断計画』 コマンド

● i-ConCIM_Kit

- 土木基本 IFC 検定対応

IFC ツールを土木基本 IFC 検定の基準にあわせて修正しました。

【対象コマンド】 『i-ConCIM-IFC ツール-IFC モデル作成・エクスポート』 コマンド
『i-ConCIM-IFC ツール-IFC インポート』 コマンド

- J-LandXML エクスポート時の初期設定

J-LandXML をエクスポートする際の測地原子の初期設定を「日本測地系 2000」から「日本測地系 2011」へ変更しました。

【対象コマンド】 『i-ConCIM-J-LandXML ツール-J-LandXML エクスポート』 コマンド

- J-LandXML インポートにおける横断面の作図角度

横断面編集ダイアログで「中心線形と横断面のなす角」を入力しても、横断面が必ず 90 度で作図される点を修正しました。

【対象コマンド】 『i-ConCIM-J-LandXML ツール-J-LandXML インポート』 コマンド

● MAISETSU_Kit

- 外形線の作図機能

既設管路の外形線を平面図に描画するようにしました。

【対象コマンド】 『MAISETSU_Kit-既設管配置』 コマンド

● DENKYO_Kit

- 特殊部の外形線の作図機能

特殊部付属品（蓋、地上機、サイドボックス）の外形線を描画するようにしました。

【対象コマンド】 『DENKYO_Kit-特殊部配置』 コマンド

- 管路の外形線の作図機能

管路の外形線は断面グループごとに 1 番外側の線を描画するようにしました。

【対象コマンド】 『DENKYO_Kit-管路配置』 コマンド

- 一括調整で更新されない特殊部モデルがある

縦断計画ダイアログの「全ての電線共同溝モデルの位置を更新」にチェックを付けても、位置が更新されない特殊部モデルがある点を修正しました。

【対象コマンド】 『DENKYO_Kit-縦断計画・管路断面変更』 コマンド

- 特殊部の掘削領域モデルが作成されない

特殊部モデル一覧ダイアログの「掘削領域を表示」にチェックを付けても、特殊部の掘削領域モデルが作成されない場合がある点を修正しました。

【対象コマンド】 『DENKYO_Kit-特殊部配置』 コマンド
『DENKYO_Kit-特殊部編集』 コマンド
『DENKYO_Kit-特殊部角度一括変更』 コマンド
『DENKYO_Kit-特殊部移動』 コマンド

- 管路配置で強制終了する

管路配置で強制終了する管路部品がありましたので修正しました。

【対象コマンド】 『DENKYO_Kit-管路配置』 コマンド

- 曲線区間に交差する構造物の形状が正しく表示されない

縦断計画および 2D 図面出力で曲線区間に交差する構造物の形状が正しく表示されない場合がありますので修正しました。

【対象コマンド】『DENKYO_Kit－縦断計画・管路断面変更』コマンド
『DENKYO_Kit－2D 図面出力－縦断図出力』コマンド
『DENKYO_Kit－2D 図面出力－横断図出力』コマンド

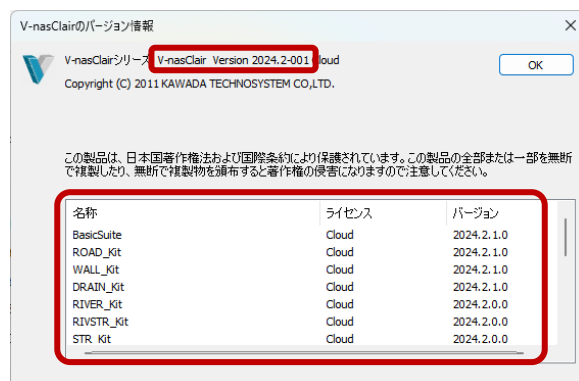
■パッチファイルの公開 URL

修正用のパッチファイルダウンロードページ

<https://www.kts.co.jp/support/vnas#heading0>

パッチが適用されているかどうかは『ヘルプ－バージョン情報』から確認できます。
以下のバージョンになっていれば適用済みです。

V-nas/V-nasClair	2024.2-001	i-ConCIM_Kit	2024.2.2.0
BasicSuite	2024.2.1.0	MAISETSU_Kit	2024.2.1.0
ROAD_Kit	2024.2.1.0	DENKYO_Kit	2024.2.1.0
WALL_Kit	2024.2.1.0		



<V-nasClair バージョン情報>



<V-nas バージョン情報>

以上